

## 月日のたつのは（江戸小咄から）

昔、お月様とお日様と雷様が、三人連れ立って旅をいたしました。ある宿へ泊まりました。翌朝、雷様が目をさしますと、お月様とお日様の姿が見えません。

- おいおい、お女中や、わしの連れのお月様とお日様の姿が見えないんだが、どうしたかご存じないかな？
- はい、お二人は、まだ朝暗いうちに、おたちになりましたよ。
- ええ！？まだ朝暗いうちにたった？ふーん、月日がたつのは早いなあ。
- ところで、雷様はいつ頃おたちになりますか。
- うーん、わしは夕だちにしよう。